

## 笑顔の松山が好きやけん

～笑顔を守り・広げ・つなげる人たち～

私が「みかん一座」を立ち上げたのは昭和59年。松山市で頑張っている人たちが夢のカケラを持ち寄って、みんなで大きな夢を实らせたい…と、情熱だけで走り出しました。これまでに老若男女合わせて2,000人も市民が舞台に立ち、それ以上の多くの人に支えられてここまでできました。人は学校で多くのことを学びますが、学び場はそれだけではありません。「みかん一座」をはじめ、人と人が集まる場所では誰もが成長することができます。その成長に欠かせないのは夢。未来を担う子どもも、人生の先輩であるお年寄りも、誰もが夢みる人を応援し、夢を叶えられるそんな松山市であることを願っています。



人と人が出会い  
交流する松山市は  
まち全体が学びの場

みかん一座 座長  
戒田 節子さん

夢みる人を応援し、夢を叶えられるまち



# 健全で豊かな心を育むまち 教育・文化

子どもたちがいきいきと  
育つ環境をつくる

## 小中学校へのエアコン整備 園庭などの芝生化

教育環境を改善し高めるため、市立小中学校の全普通教室と使用頻度の高い特別教室にエアコンを整備しました。また、子どもの豊かな感性を育み、コミュニケーション能力や基本的な運動習慣の向上を目的に、子どもが戸外



芝生化された園庭を元気に走る園児

でのびのびと体を動かし遊べるよう、幼稚園・保育所の園庭や小中学校の芝生化を行っています。

## 教育環境の充実

松山の子どもたちに、これからの社会を生き抜く力と郷土への愛着や誇りを育む質の高い教育を行うとともに、教職員への研修や、学校教育に関する調査・研究などを行うため、平成28年に「教育研修センター」を開設しました。松山ゆかりの先人や伝統文化などを素材にした「ふるさと松山学」教材の



「ふるさと松山学」教材

活用など、わがまち松山に根ざした学習を充実し、郷土への愛着や誇り、将来への志を育みます。

## 高校生にしか語れない 俳句がある「俳句甲子園」

松山市ならではの「ことば文化」の一つである俳句をいかして開催している「俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会」。高校生が5人1組で、俳句を作る力と鑑賞する力を競います。17音の「ことば」に青春をかけた高校生が大街道商店街などを舞台に繰り広げる真剣勝負は、街ゆく人の足を止め、賑わいと活気をもたらしています。また、大会は松山の夏の風物詩として定着し、「俳都松山」を全国に発信しています。



俳句甲子園

## スポーツのちからで まちを元気に

### 愛媛マラソン

第48回大会から、市内中心部と北条地域に至るコースに変更し、これまでに半世紀を超える歴史を積み重ね、全国でも人気の大会になっています。沿道からの途切れることのない声援や、中・高生をはじめ地域や医療関係者など、多くのボランティアの皆さんに支えられています。ゴールの城山公園では、芋炊きの無料サービスや道後温泉足湯の設置など、愛媛マラソンならではのおもてなしも大会の大きな魅力です。



愛媛マラソン

